

## イベント予告

### 「第3回 四国オープンイノベーションワークショップ in 高知」 ～オープンイノベーションによる四国地域の産業活性化を目指して～ (高知：H30.1.31)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所四国センターは、オープンイノベーションによる四国地域の産業活性化を目指して「健康・介護・食品」および「ものづくり・防災・農業」に関する多様な技術シーズを発表し交流を促進する「四国オープンイノベーションワークショップ in 高知」を開催します。

#### 【開催趣旨】

本ワークショップは、組織の枠や県の枠を越えて、四国地域の大学、国立研究機関、公設試験研究機関、高等専門学校、企業、産業支援機関などの研究・開発に携わる人々が一堂に会し、各機関の取り組みを勉強するとともに、今後の交流のための人的ネットワークの形成を促すことを通じて、多様な技術や理念を融合し、単独では取り組めないテーマ、多くの組織が参加するテーマを立ち上げ、その中で各組織が新たな事業展開を目指すものです。

本ワークショップが契機となって、四国地域の交流が活性化し、全国から注目を集めることができるような活動に発展することを願っています。

【日時】平成30年1月31日（水）10:00～16:30(9:30～受付)

【会場】高知会館(高知県高知市本町5-6-42)

【定員】200名

【参加費】無料

#### 【プログラム概要】

○基調講演1「食の統合的価値(SEDAモデル)を考える(予定)」

高知大学副学長兼地域連携推進センター長 受田 浩之 氏

○基調講演2(産総研より発表予定)

○休憩

○講演

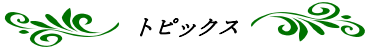
・第1会場:「健康・介護・食品」に関する各機関の技術シーズ(7件(予定))の発表

・第2会場:「ものづくり・防災・農業」に関する各機関の技術シーズ(7件(予定))の発表

○ポスターセッション

各機関の技術シーズ紹介ポスター(60件程度)を展示しポスター毎に各機関担当者が説明

**※内容が確定次第、臨時号にて詳細をお知らせいたします。**



## 産総研の最近の主な研究成果 (平成29年11月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2017/11/1>

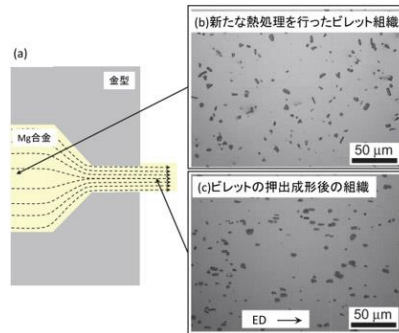
### 機械特性を飛躍的に改善した難燃性マグネシウム合金押出材の作製に成功 —鉄道車両部材などへの用途拡大に期待—

#### 【ポイント】

- ・従来の方法に比べ、機械特性を飛躍的に改善した難燃性マグネシウム合金押出材の作製に成功
- ・鉄道車両の抜本的軽量化に期待

#### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171101/pr20171101.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171101/pr20171101.html)  
(構造材料研究部門)



<発表・掲載日：2017/11/7>

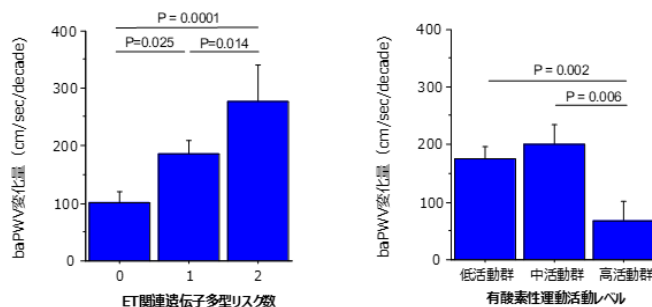
### 動脈硬化の進行度合いの個人差を長期間追跡調査 —習慣的な有酸素性運動は血管の老化を1/3に抑制—

#### 【ポイント】

- ・動脈硬化の進行度に、血管収縮因子エンドセリン受容体遺伝子の配列の違いが関係することを発見
- ・習慣的な有酸素性運動による動脈硬化抑制効果を10年間の追跡調査で初めて実証
- ・新たな心血管系疾患の発症予防策の創出に期待

#### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171107/pr20171107.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171107/pr20171107.html)  
(人間情報研究部門、バイオメディカル研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2017/11/9>

## 従来方式より安全で高機能な二種類のパスワード認証方式が国際標準化 —アカウントの乗っ取り対策や匿名のまま認証を受けられる方式が国際標準規格として発行—

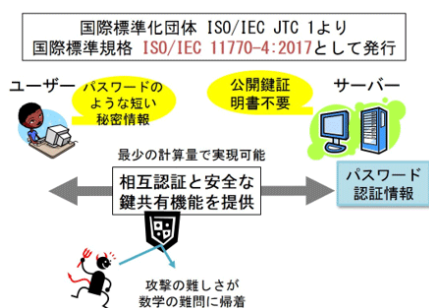
### 【ポイント】

- 公開鍵証明書不要、パスワードのみで安全な認証を実現する「AIISTパスワード認証方式」が国際標準化
- 匿名状態のまま特定の権限や属性の有無を認証できる「AIIST匿名パスワード認証方式」が国際標準化
- フィッシング攻撃対策や匿名によるサービス提供など安全なインターネット社会の実現に貢献

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/new\\_research/2017/nr20171109/nr20171109.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2017/nr20171109/nr20171109.html)

(情報技術研究部門)



<発表・掲載日：2017/11/14>

## 国際標準模式地の審査状況について —地層「千葉セクション」の認定へ向けて—

### 【ポイント】

- 国際地質科学連合 (IUGS) の作業部会で、千葉県市原市の地層「千葉セクション」が、地質時代の「前期 - 中期更新世境界の国際標準模式地 (GSSP) として選出
- 今後のIUGS内の審査の結果、千葉セクションがGSSPになった場合には、現在「中期更新世」と呼ばれている約77万年前～約12万6千年前の地質時代の名称が「チバニアン」に

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171114/pr20171114.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171114/pr20171114.html)

(地質情報研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2017/11/17>

## 体に有害な活性酸素を除去できる「タンパク質マイクロマシン」を開発 ータンパク質を部品として使い、高度な機能を備えた構造体を作るー

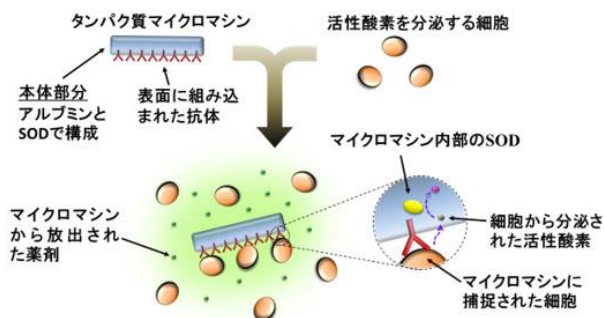
### 【ポイント】

- ・ 活性酸素除去機能を備えたマイクロマシンを、タンパク質だけで作製
- ・ 活性酸素を分泌する細胞を捕捉し炎症性疾患悪化の原因となる活性酸素を除去
- ・ 天然素材でできた医療用デバイスを用いる、体にやさしい治療の実現へ期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171117/pr20171117.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171117/pr20171117.html)

(バイオメディカル研究部門)



<発表・掲載日：2017/11/17>

## ハムシは共生細菌の酵素の助けで葉を消化 ーペクチン分解に特化した極小ゲノム共生細菌の発見ー

### 【ポイント】

- ・ アオカメノコハムシの共生細菌スタメラのゲノム配列を決定、解析
- ・ 植物細胞壁の主要成分であるペクチンの分解酵素の生産に特化し、宿主の成長に必須
- ・ 植物食における細胞壁破壊の重要性に洞察を与え、農業害虫防除の新規標的としても期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171117\\_2/pr20171117\\_2.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171117_2/pr20171117_2.html)

(生物プロセス研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2017/11/22>

## 熱電材料の「ゼーベック係数」の簡便な測定手法を開発

—測定時間を10分の1に短縮し、測定精度を5倍向上—

### 【ポイント】

- 熱電材料の性能を示す「ゼーベック係数」の新たな測定手法を開発
- 熱物性値の測定が不要なため、従来の10分の1の測定時間、5倍の測定精度を実現
- 熱電材料の生産効率や品質の向上、新たな熱電材料の探索などへの貢献を期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171122/pr20171122.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171122/pr20171122.html)

(物理計測標準研究部門)



<発表・掲載日：2017/11/24>

## 電子波の位相変化は人工原子の内部構造を反映することを世界で初めて実証

—20年来の電子の散乱位相に関する問題に決着—

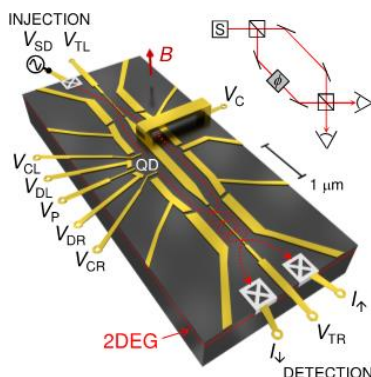
### 【ポイント】

- 多くの電子を含む人工原子によって散乱された電子波の位相のずれが人工原子内部の電子軌道の形に依存した振る舞いを示すことを実証
- 独自に開発・改良した二経路干渉計を用いて精密かつ信頼性の高い位相測定を行うことにより検証
- 高精度な位相測定による新たな物理現象の解明および電子波の位相制御を用いた量子ビットなどの量子情報デバイスなどへの応用が期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171124/pr20171124.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171124/pr20171124.html)

(物理計測標準研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2017/11/27>

## 青色LED材料を活かして、熱を電気に変換 —高性能な熱電材料のための新しい材料設計指針—

### 【ポイント】

- 既存の実用熱電材料の2～6倍に相当する、効率的な熱電変換出力因子を達成
- 青色発光ダイオード材料(窒化ガリウム)の高い電子移動度を活かした半導体二次元電子ガスを利用
- 熱電材料を高性能化するための新しい材料設計指針を与えることが期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20171127/pr20171127.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20171127/pr20171127.html)

(省エネルギー研究部門)

